

佐久間良子

木暮実千代

河原崎長一郎
丹阿弥谷津子
岩崎加根子

千秋実
千田是也
宮口精二
東野英治郎
進藤英太郎



原作■水上勉
田坂具隆監督作品

企画■岡田茂 亀田耕司 久部恒
脚本■鈴木尚之 田坂具隆
撮影■飯村雅彦



さみしきには
なれてます。
幻のなかの、
小指ほどの灯：
それが夕子の恋。
京都五番町、廓のなかで
ひっそり咲いて散る
女のいのちを流麗につづる
水上文学映画化の名篇

《カラー作品》

五番町夕霧楼

ごばんちょうゆうぎりろう

五番町夕霧楼

◆かいせつ

水上勉原作の同名小説の映画化。巨匠田坂具隆監督演出、佐久間良子主演で、美しく哀しい女の性を追い描く華麗な話題作。

五番町——それは、遠い昔から京にある色里の呼び名です。与謝半島の貧しい家から、たった一人京の色里に売られて来た夕子。傷つけられ、さいなまれながら、夕子の肉体にひそむ魔性が、激しく目覚めて行きます。

主人公の佐久間良子を中心に、若い修業僧に河原崎長一郎、遊廓の女達には木暮実千代、岩崎加根子、丹阿弥谷津子、木村俊恵、標滋賀子、清水通子、安城由貴子などの新鋭ベテラン女優がつらなり、千秋実、東野英治郎、進藤英太郎、千田是也、宮口精二、織田政雄など当代の一流演技陣が顔をそろえる超大作です。

企画岡田茂、亀田耕司、矢部恒、脚本鈴木尚之、田坂具隆が担当し、音楽には気鋭の作曲家佐藤勝が、撮影にはベテラン飯村雅彦があたっています。

東映・東京カラー作品、映写時間二時間十七分です。

◆ものがたり

京都五番町夕霧楼の女将かつ枝は、年老いた夫伊作の死を聞いて駆けつけた与謝半島のひなびた漁村樽泊で、はじめて夕子に会った。夕子は十九になったばかりの色白で目もとの涼しい娘だった。

夕子の家庭は木樵の父三左衛門と肺病で寝たっきりの母、それに幼い妹が二人という貧乏暮らしで、母の松代の為夕子は身を売る決心をしてかつ枝を訪ねて来たのだ。不幸な夕子を男たちの前にさらすのはかつ枝にとってつらいことだった。思案の末、かつ枝は西陣の織元竹末甚造を夕子の旦那に仕立て上げることに決めた。

甚造は古くからのお得意だったし、数年前妻に死なれて以来独り暮らしを続けている。夕子にとってはかつこうの

男だった。このことを知らずと夕子は素直に云うことをきいた。水揚げの翌日、甚造は目を丸くして夕子の身体をほめた。敬子、照千代、雛菊等同僚たちも新参の夕子を可愛がった。夕子が五番町の雰囲気溶け込んでゆくを見てかつ枝は内心ほっとした。

しかし、いつの日からか一見学生風の青年が夕子を訪ねて来るようになった。見とがめて夕子をただしたかつ枝は、常とちがって忠告をうけつけぬ夕子の固い態度を意外に思った。青年は櫛田正順という鳳閣寺の小僧だった。織物の展示会の日、甚造が会場に借りた燈全寺で青年の正体を知ったのである。寺の小僧に遊女を買う金などある筈がない。

夕子を問い詰めたかつ枝は意外なことを聞かされる。夕子と正順とは幼な馴染みで、どもりの為、誰からも相手にされない正順を夕子がかばってきたのだという。泊っても二人は昔の想い出を語るのみで、遊びの金は全部夕子が自前でもっていたという。間もなくこの正順が鳳閣寺に放火し捕えられた。

甚造が二人の仲を裂こうと鳳閣寺の和尚に告げ口した為、正順はひどい折かんを受け、いたたまれず火をつけたのだろう。正順は、幼い頃父母を失って樽泊の寺へ引きとられて以来、生まれついでのもり癖も手伝って次第に人を嫌い世をすねる人間になっていた。京都へ来ても事々に人からさげすまれた彼は、放火することによって世間への復讐を果そうとしたのではないか。

留置所で自殺したという正順と、時を同じくして夕子があとを追うように姿を消した。幸

薄い夕子にとって正順の存在は、彼女の全てであったにちがいない。正順の死を知った時、夕子の脳裏には幼ない頃、二人で遊んだ故郷の風景がぼんやりとかすめたのだろう。

夕子は、やがて樽泊の墓地で死体となって発見された。蒼く澄んだ日本海を下にみて、真ッ紅に咲いた百日紅（さるすべり）の花が夕子の悲しい運命を象徴するかのよう、目に痛く咲き乱れていた……。



'80年1月19日(土)より
 新春 特別ロードショー！

TOEI CINEMA CIRCUIT
 伊勢丹斜め向い・新宿東映会館2F
新宿東映ホール (351) 3022
 時間 連日 11:10 1:47 4:24 7:01

特別鑑賞券発売中！
880円
 (当日一般1300円(の処) 学生1100円)